



樹木いきいき講座 <その18> 3班 藤原満男

くだもの植樹奮闘記+ゴーヤの巻

東側に黄色い実のゴールデンキングと云うキーウィフルーツを植えている。雌雄異株で雄株の開花が早すぎて去年は6つしか実を付けなかった。雄株のそばにエアコンの室外機を付け強剪定をした為、今年は雄株の開花が遅く受粉がうまくいかずか気をもんでいる。

その向こうに5m余(根周り141センチ)のスモモがあったが、実を付けないし隣にはみ出しているので思い切って伐採した。近縁のブルーベリーも梅の木があれば結実するというがダメだった。

北側に以前からあったナシに実を付けたいと思い、授粉樹としてラ・フランス(西洋梨)を植えたのですが、これも開花時期がずれて上手

くいかない。

本命ではない方のラ・フランスは日本では結実しないと後で知った。

居間の西側のゴーヤが毎年夏の暑い陽射しを遮ってくれている。授粉や病虫害の心配がなく、葉の黄変や枯れが遅く緑のカーテンが長く続く。ニガウリの名に違わずかなり苦い。ビタミンCが豊富でタラの芽と同じく天ぷらにすると美味。オレンジ色に熟した皮と種のまわりの真っ赤で甘いブヨブヨなものバナナと牛乳でジュースにするとマンゴージ



ュースのようになると聞いて飲んでいるがそうでもない。人によって基準は違う。



《ゴーヤ》

特有の苦味とシヤッキリ食感。

夏を乗り切るスタミナ野菜として、また真夏の日差しを遮るためのグリーンカーテンとしても活躍。ゴーヤチャンプルのような炒めものだけでなく、本文にもあるように天ぷらや揚げもの、サラダにしても美味。